



押仲

多賀会長題字

【会長のご挨拶】



押上一丁目仲町会
町会長 多賀康之

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より町会の運営・活動にご理解ご協力を賜り、御礼申し上げます。

今年は、元日に能登半島地震が発生し、未だに避難所暮らしを強いられている方もおり、いち早い復旧をお祈りするばかりでございます。新型コロナウイルス感染症については、行動制限がなくなり、4年ぶりに通常通りに開催できた新年会や賀詞交歓会が多くありました。主なものを挙げると、安全安心街づくり協力団体連絡会議、本所消防協働団体合同新年会、本所北部連合町会新年会、本中地区青少年育成委員会新年賀詞交歓会、業平小学校PTA新年会などです。これらの会に参加することにより、地域の安全安心につながる団体や関係機関との絆を一層深めることができました。災害や犯罪は、ないことが一番ですが、万一起きたときには、周りの人と協力し合えるように、お互い知り合うことが大切だと常々考えております。

また、前号発行からの行事として、二月十八日には、墨中地区防災拠点会議の避難所開設訓練がありました。訓練説明の後、備蓄倉庫の見学をし、ブルーシートの敷き方、段ボールベッド組み立て、発電機の起動、マンホー

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第100号

令和六年三月三十一日

ル対応型トイレの組み立て、Wi-Fi設備の起動などの訓練を行いました。非常用コンセント等墨田中学校の設備の確認も行いました。一通りは、確認できたのですが、いざというときに、真つ暗な状態だったらどうなるのかなど不安も残りました。

三月一日～七日には、火災予防運動があり、回覧・掲示板等で注意を促しました。この記事を書いている少し前の三月十二日に全国のニュース番組でも報道されましたが、向島三丁目の曳舟川通りエネルギースパークの前の前において放火事件がありました。翌日の午前中には検挙された旨の報道がされましたが、放火という悪質な事件で、我々ができることは、ゴミは決まった時間に出すということ、不審者がいないか目を光らせていることぐらいでしょうか。不審な人がいたら、警察に連絡してもらって結構です。誤報だとしても大事に至らないことが大切です。

四月に入ってからからの予定が分かっていて、お知らせします。春の交通安全運動は、今年は四月六日（土）～十五日（月）に開催します。例年通り、ニッポンレンタカーの前に横断幕と幟を設置して交通安全を呼びかけますので、ご協力をお願いします。また、五月十九日（日）にクリーンキャンペーンがあります。昨年は、多くの方に参加していただきました。今年もよろしくお願ひします。

実行委員会からの正式な発表はま

ですが、隅田川花火大会は、七月二十七日（土）に行われる予定です。秋の飛木稲荷神社のお祭りは、今年九月十三日（金）～十五日（日）の三日間の例大祭となり、数年に一回ある牛嶋神社と重なるお祭り日程になります。昨年は、上陸様の応援のおかげで何とかお神輿を担ぐことができました。今年も、六月九日に高木神社の大祭がありますので、高木神社のお神輿で練習されることをお勧めします。

最後に、特殊詐欺への注意喚起で、締めたいと思います。警察官、金融庁、銀行員、区役所職員などに成りすまして、キャッシュカードを奪い取ったり、ATMで振り込ませるなどの手口です。電話がかかってくる以下言葉が入っていたら間違いなく詐欺ですので、警察に連絡してください。キーワードは、「還付金・お金が戻る」「キャッシュカード・カード」「暗証番号」です。また、ATMで電話をしている人を見かけたら、詐欺にあっている電話ですので、銀行の係の人を呼ぶなりして被害を未然に防ぎましょう。警戒心を持って行動してくださいとのことで、不審に思ったら、「本所警察に連絡して、一緒に立ち会ってもらおう」と言ってみる。春の交通安全運動は、今年四月六日（土）～十五日（月）に開催します。例年通り、ニッポンレンタカーの前に横断幕と幟を設置して交通安全を呼びかけますので、ご協力をお願いします。また、五月十九日（日）にクリーンキャンペーンがあります。昨年は、多くの方に参加していただきました。今年もよろしくお願ひします。

実行委員会からの正式な発表はま



東武橋脇の河津桜が満開

【しらとり子供会】

大井 旬江

去る三月九日（土）に昨年と同様にアイビーボウル向島で押上一丁目子供会さんと合同で登校班の歓送迎会を行いました。

子供たちはスベアやストライクがとれると周りのお友達とハイタッチをしたり、低学年のお友達が投げるときはサポートしてあげたりと、とても微笑ましい姿を見ることができました。学年関係なくみんな楽しんでむことができ、いい思い出ができたのではないかと思います。

今年度はコロナウイルス感染症が落ち着き、行事が復活したことで子供たちが町内会の行事やお掃除のお手伝いをする機会がありました。

町内会の皆さんとの関りは子供たちが成長する中でとても貴重な経験になるので、来年度もそのような機会が多くあることを願っております。今回は卒業生も新入生もおらず、来年度も五名となります。

町内会の皆様におかれましては今年度も子どもたちを見守っていただけたら幸いに存じます。



参加した子どもたちアイビーボウル向島にて

【防災レジリエンスフェア】

昨年十一月十二日墨田区連合町会合同防災訓練が荒天のため中止になりました。

春の火災予防運動期間中に令和六年三月二日（土）十時～十四時の間、防災レジリエンスフェアが隅田公園そよ風広場にて開催されました。当日の内容について報告します。

- ・ひけしまる乗車コーナー
- ・まちかど防災訓練車コーナー
- ・煙体験ハウスコーナー
- ・スタンドパイプ体験コーナー
- ・地震体験コーナー
- ・応急救護体験コーナー 展示開催



地震体験コーナー

大地震が発生した場合の避難先

- 建物倒壊や火災の危険があり自宅にいることが不安
- ← 一時集合場所…押一町町会会館
- ← 避難場所 …文花一丁目団地内
- ← 指定避難場所…墨田中学校



【押上界隈の歴史あれこれ】 三九、大名屋敷の名残「旧安田庭園」

横井 正男

墨田区内にはいくつかの大名屋敷がありました。現在、残っているのは水戸徳川家下屋敷跡の隅田公園と笠間藩主本庄家下屋敷跡の旧安田庭園です。今回は「旧安田



庭園」について紹介します。

同園に設置されている案内板「沿革」には、次のように記されています。



元禄四年（一七〇一）徳川五代將軍綱吉の生母桂昌院の実弟である常陸笠間藩五万石の領主本庄因幡守宗資（その後足利藩主）が下屋敷として幕府より拝領しました。この庭園は、宗資が築造したと伝えられています。中央に「心」字をかたどり、隅田川の水を引き入れた池を配し、潮の干満によって変化する景観を楽しむ、潮入り池泉回遊式庭園です。

明治になって旧備前岡山藩主池田章政邸となり、明治二十四年（一八九一）安田財閥の創始者初代安田善次郎（※）の所有となりました。安田翁の逝去後、家屋及び庭園は大正十一年（一九二二）、東

京市に寄付されました。

大正十二年（一九二三）九月一日の関東大震災により、壊滅的な被害を受けたが残った地割石組みを基にして復元工事を行い、旧安田邸跡地は寄付者の名を冠して「旧安田庭園」と命名しました。昭和二年（一九二七）に民間篤志家の寄付による和風庭園として初めて一般に公開されました。

昭和四十二年（一九六七）、東京都から墨田区に移管されたのを機に、全面的な改修工事を行い、昭和四十六年（一九七一）に名園といわれた往時の姿に復元しました。平成八年（一九九六）、明治時代の代表的な庭園として、東京都の「名勝」に指定されました。その後、施設の老朽化が著しくなりました。貴重な文化財庭園を後世に残すため、墨田区では平成十七年（二〇〇五）に「旧安田庭園整備保存管理計画」を策定しました。この計画に基づき、旧安田庭園を保護し、さらなる活用に努めています。

墨田区

潮入り池の「水門跡」

昭和三十年代、隅田川の水質悪化汚濁と護岸工事等で池への水門は閉じられました。現在は、地下に貯水槽を設け、水を池と貯水槽間のポンプで移動させることにより、人工的に池の水の干満を再現させています。水門は往時の遺構



潮入り池の水門跡

として残し、保存しています。

本所（両国）公会堂・刀剣博物館
大正十五年（一九二六）、庭園内の北西の一画に、安田善次郎の寄付により本所公会堂（後に両国公会堂）が建設されました。

大屋根のドームと正面の格調高い左右対称のデザインの建物は、周辺に建つ震災記念堂（現東京都慰霊堂）・旧国技館と共に地域のランドマークでした。

昭和四十三年（一九六八）当時の需要に合わせた大改修を行い、広く使われましたが、平成十三年（二〇〇一）、老朽化のため使用が中止され、平成二十七年（二〇一五）惜しまれながら解体されました。

両国公会堂跡地には、刀剣博物館が建設され、平成三十年（二〇一八）一月にオープンしました。（参考資料 公会堂パンフレット）



園内の両国公会堂 2012 年 7 月撮影



跡地に建つ刀剣博物館 2023 年 3 月撮影

※安田善次郎（一八三八～一九二二）四大財閥（三井・三菱・住友・安田）の一つ安田財閥を一代で築いた実業家。安田銀行（後に富士銀行、現みずほ銀行）・安田生命（現明治安田生命）・安田学園等創設。日比谷公会堂・東大安田講堂も寄付

【プラスチックの回収開始】

4月1日から墨田区はプラスチックゴミの出し方が変わります。プラスチックの回収は毎週月曜日となり、資源物として収集する「プラスチック類」と「食品トレー」を新たに設定するプラスチックの日にとまとめて出します。

押上地区は食品トレー・ペットボトルの回収は毎週水曜日です。プラスチックゴミは汚れや匂いがあれば、水ですすぐか、汚れを拭き取り、中身の見える袋にプラスチック資源として再利用するそうです。

詳細については墨田区のホームページをご覧ください。

編集後記

突然ですが今回の100号で暫く休刊となります。25年前に当時の奥山総務部長の発案を細川町会長が「応援するからぜひやりなさい」という一言で始まった広報紙が、まさか100号まで続くとは思いませんでした。

当初は素人の壁新聞レベルで、全て手探りの状態。印刷も区の施設にある印刷機を借りて、黒インクで表面印刷をして、裏返して裏面を印刷する簡素な印刷でした。

25年の間に地下鉄半蔵門線の開通や、東京スカイツリー完成などがあり、押上が大きく変わりました。ホームページ「押仲」には全号が掲載されており、改めて読み返すと押上の変遷を感じます。そして懐かしい人達の写っている写真を見ると、押上は良いところだったんだと実感します。子供達にとっては今の押上が故郷の思い出になります。将来、押上が誇りに思える故郷であって欲しいと思います。

幸せな事に素晴らしい広報部の役員と横井様始め多くの原稿を書いて頂いた方々に支えられて、ここまで続ける事が出来ました。

町会員の皆様、25年間、ご覧頂き有難う御座いました。尚、ホームページ「押仲」は暫らくの間は残す予定ですので、ご覧頂ければ幸いです。（MS）

令和6年4月から

資源物（プラスチックの日：週1回）

●素材が全てプラスチックでできている製品を、一つの袋にまとめて「プラスチック資源」として出す。

